

日本原子力学会「二相流計測データベース整備・評価」研究委員会
平成15年度 第2回委員会 議事録

1. 日 時 : 平成15年8月29日(金) 14時00分～17時00分
2. 場 所 : 工学院大学 28階 第3会議室
3. 出席者(敬称略、順不同):
師岡(東芝)、小泉、大竹(工学院大)、浜田(サイクル機構)、池野(原燃工)、白井(テプシス)、秋葉(東芝)
4. 配布資料:
資料 6-0 議事次第
資料 6-1 前回議事録
資料 6-2 二相流データベース評価委員会のデータベース作成方法およびスケジュールについて
資料 6-3 二相流文献データベース
資料 6-4 データベース公開方法に対する意見
資料 6-5 二相流計測技術講習会
資料 6-6 秋の原子力学会総合講演“二相流データベースの評価・整備”研究専門委員会報告

5. 議 事 :

5. 1 前回議事録の確認

資料6-1を用いて前回議事録の確認を行った。

5. 2 データベースについて

資料6-2および資料6-3を用いて、主査より、現在までに纏まったデータベースの説明があり、それについての検討を行った。以下に検討内容を示す。

- ① 集まったデータベースは全ての小項目について網羅できていないため、足りない小項目については主査から依頼をする。以下に依頼先を示す。

限界出力: 原研(稠密の文献)

圧力損失: 全委員に再度アナウンス

BT以降の熱伝達率, BT後のロッド温度: 日立 西田委員

ミスト冷却: 金沢大 滝本先生, 大竹先生

最小膜沸騰温度, 沸騰開始点温度: 大竹先生

不安定性全般: 小澤先生, 原研 井口さん, NFI 井坂委員, テプシス 堀田委員 白井委員

サブクール沸騰, 流動様式: 全委員に再度アナウンス

二相流分布: テプシス 堀田委員 白井委員, 阪大 大川委員, 東芝

液滴: 慶応 前田先生 菱田先生

液膜厚さ：日立 西田委員，九大 深野先生，東芝

②限界出力は文献数が多いので、単管と管群に分けた方が良いのでは。

③今後の作成スケジュールを以下に示す。

(1) 10月末までに再度データベースを集める。文献の集まらない小項目箇所があっても、10月末までに集まったもので、まず、事務局の方でデータベースを作成する。

(2) 各委員に配布して、各サブグループでデータベースの評価をして頂き、その結果を事務局へ11月始めまでに送付していただく。

(3) (2)の結果を踏まえて、事務局でデータベースを作成し、次回の委員会で議論して頂く。

5. 3 データベースの公開方法について

資料6-4を用いて、主査より、データベースの公開方法に対する意見についての説明があり、それについての検討を行った。

- ・データベースを公開し、それを用いて不具合が生じた場合に本委員会に賠償責任が発生する可能性が考えられる。主査が原子力学会事務局に問い合わせる。
- ・原子力学会 HP にて公開し、最初は課金しない方向で話しが纏まった。

5. 4 二相流計測技術講習会

小泉先生より、資料6-5を用いて、二相流計測技術講習会の案内があった。現在、参加者を募っている最中であり、本委員会の委員の方々にもアナウンスすることになった。

5. 5 秋の原子力学会の熱流動部会セッションについて

資料6-6を用いて、主査より、次回原子力学会の熱流動部会セッションにて、本委員会の活動内容について発表する旨の説明があった。

5. 6 トピックス

工学院大学 小泉先生より、「液膜の破断と限界熱流束」について説明があり、ドライアウトについての議論があった。

5. 7 次回委員会

平成15年度の第3回は11月26日(水)に開催する。詳細は決まり次第、メールにて委員の方々にご連絡する。

以 上